

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：県民広聴課
担当名：広聴・知事への提案担当
内線：2850 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業		
P2	県民案内業務運営費				一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	県民生活事業推進費		
事業期間	平成18年度～	根拠法令	なし				針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築		
							分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上		
1 事業概要											
来庁者の利便性の向上を図るため、県民案内室において、案内業務や資料の配布サービス等を民間委託により実施する。											
第二庁舎案内所は遠隔案内システムに置き換え、業務の効率化と案内方法の多様化を図る											
イ 遠隔案内システム導入費 契約差金に伴う減											
△951千円											
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 11,380千円×0.1人=1,138千円											
5 事業説明											
(1) 事業内容											
ア 県民案内業務運営費 8,367千円											
民間業務委託により、県民案内室において案内業務を実施する。											
※なお、県民案内業務については、平成26年度から民間委託化(長期継続契約)している。											
イ 遠隔案内システム導入費 1,554千円											
第2庁舎県民案内所に遠隔案内システムを導入し、本庁舎県民案内室から遠隔で案内を行う。											
(2) 事業計画											
ア 窓口業務											
庁内各課室の所在及び業務の案内、県庁周辺の機関等の案内、県関係パンフレット等の配布、車いすの貸出等											
第二庁舎案内所の遠隔案内											
イ その他の業務											
庁内放送、案内用資料の作成、配架資料の管理、県庁見学対応、業務統計資料の作成、車いすの点検等											
(3) 事業効果											
年間3万人前後の県民等が案内室を利用(令和2年度 33,068人、令和3年度 28,963人、令和4年度 30,063人)											
目的の課室への迅速な案内、資料配布のワンストップサービス化による県民サービスの向上											
民間委託により県民サービスの向上と経費の節減を実現											
【活動指標(アウトプット)】案内業務の効率化による人員削減(1名)											
【成果指標(アウトカム)】来庁者のニーズに応じた案内の実現による利便性の向上											
(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況											
民間業務委託の継続(V期：令和4年8月1日～令和6年9月30日・長期継続契約 ※令和4年8・9月は引継期間)											
(5) 補正予算の概要											
遠隔案内システム導入費に係る契約差金に伴う減額											
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△951								△951	9,921	
現計額	10,872								10,872		

事業内訳書

事業名	県民案内業務運営費		
単位事業名	遠隔案内システム	予算額	△ 951千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△951	—	
合計	△951	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△951	—	契約差金に伴う委託料の減
合計	△951	—	